

北の大地を学びのフィールドに ～サービラーニングセンター北海道(仮) の設立事業

〒064-0809
北海道札幌市中央区
南9条西3丁目 1-7
電話:011-562-0081
E-mail:info@ezorock.org
https://www.ezorock.org/



ひろげる助成

2年目

実践



都市部の若者による登山道の補修

| | |
|---------------------|------|
| サービラーニング プログラム回数 | 96回 |
| 参加者数延べ | 450人 |
| 今年度計画の達成度 | 60% |
| 活動の全体目標に対する 達成度 | 60% |

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

安全管理、募集広報、事務作業の効率化等。

■ 工夫した点

参加者や受け入れ団体スタッフとの日常的なコミュニケーションや相互フィードバックによりプログラムを進めること。

課題

●青年層が実践的な環境教育を学ぶ機会が少ない。●高等教育機関は、実践的な環境教育の場であるサービラーニングへの関心はあるが安全面等の懸念事項が多い。●環境NPOは、担い手候補の育成が難しい。

目標

●持続可能な開発のための知識・技能・価値観・態度を習得したユースが増える。●環境NPOの次世代の育成につながる。●北海道内の30%の大学等との接点が生まれる。

活動内容と成果

青年層向けの長期プログラムの作成・実施・発信を行う。具体的には、「体験」「勉強会」「ふりかえり」「提案作成」「実践活動」の要素を含めた、座学と実践が往復するプログラムを作成する。これを、教室で学んだ学問的な知識・技能

を課題解決のための社会的活動に生かすための「サービラーニング」という教育手法として表現し、「サービラーニングセンター北海道(仮)」の設立を目指す。



若者と地域住民による里山保全活動

今後の展望

- 北海道の学生の0.5%である130名が参加。
- 受け入れ団体から、取り組む環境活動の促進について有意な評価を得る。
- 北海道内の大学(短大含む)16校と連携・資金調達。